



# 旅する公務員

第10弾

埼玉県 横瀬町

町民課 鈴木美穂

# 「旅する公務員」の目的

## ◆「A面」的目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により  
テレワーク環境が整ったことから  
磐梯町と交流のある自治体に職員を派遣し  
実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題を顕在化させ  
ひとつひとつ障壁を解消していく。



## ◆「B面」的目的

自治体間の交流を推進し  
互いの先進事例を共有することにより  
地域課題の解決を図る。



## ◆「ボーナストラック」的目的

先方自治体の職員の方ばかりではなく  
関係者や団体の方々  
により住民の方々と  
昼夜分かたず楽しく交流し お友達になる。

# 「旅する公務員」 第10弾の概要

旅した期間 2023年9月4日（月）～2023年9月8日（金）

旅した職員 町民課 保健福祉センター  
保健師 鈴木 美穂

旅した場所 埼玉県 横瀬町 健康子育て課

# 旅する公務員 旅先「埼玉県 横瀬町」

健康子育て課 Health and Childcare Division

2

子育て支援・児童福祉・保育・母子保健・子育て世代包括支援センター  
健康増進・精神保健・感染症・予防接種・子ども家庭総合支援拠点

横瀬町役場（正面玄関）

健康子育て課

横瀬町役場

滞在中の5日間「健康子育て課」にお世話になりました。

母子保健・健康増進・予防接種に加えて、児童福祉・保育関係も担当し、町立保育所・児童館も健康子育て課の管轄でした。

「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」にもなっています。

役場庁舎は3階建てで吹き抜けになっており、すべての課・教育委員会・議会事務局が庁舎内にありました。

# 旅する公務員 1日目

9月4日(月)

7時50分 磐梯町駅発

JR磐越西線⇒東北新幹線⇒JR川越線⇒西武鉄道を乗り継ぎ、無事到着

11時59分 横瀬駅到着

13時00分

横瀬町役場にて、町長・副町長・大畑まち経営課長にご挨拶。  
守屋健康子育て課長に案内いただき、各課の皆さんへご挨拶。

13時30分～ 富田横瀬町長定例記者会見

★13時50分頃～参加させていただきました。「旅する公務員事業」について、  
記者の方から質問もありました。

翌日の朝日新聞埼玉県版に掲載がありました。  
翌日に掲載されることは稀だそうです。



背景は… 武甲山（1304m）  
石灰が採れる山で、毎日12時半に爆破が起こるそうです！！



# 旅する公務員 1日目 & 横瀬町のご紹介①

14時30分頃～ 町内を案内していただく。(まち経営課 田端主幹・守屋健康子育て課長・渡辺保健師)

## ご案内いただいた場所

- ★ あしがくぼ笑楽校 横瀬児童館出張ひろば「メープルの森」  
⇒毎週月曜日10時～15時。お弁当持参で、1日過ごすことができます。  
この日は朝雨が降っていたこともあり、いつもより利用者は少なく1組でした。

- ★ アスタバ（芦ヶ久保駅前）  
⇒今年4月オープン、閉店してしまった売店を自由に利用できる待合所に改装。  
地元の方が朝7時開錠・19時施錠・掃除を行っています。  
自動販売機スタイルで地のものを販売しています。

- ★ 道の駅 果樹公園あしがくぼ

- ★ 札所8番 西善寺  
⇒紅葉の時期もとてもきれいとのこと。秩父札所34か所のうち、5～10番までが横瀬町にあります。町内の札所6か所＋2か所の寺院では、切り絵の御朱印が販売されています。

横瀬児童館は…  
・18歳未満のこども、  
親子の遊び場  
・学童保育の場



秩父の水（湧き水）→

背景は…  
札所八番 西善寺  
樹齢推定600年  
「コミネカエデ」

## 横瀬町のご紹介②

### ★ 寺坂棚田（埼玉県最大級の棚田）

⇒土地の持ち主40軒ほどのうち、実際に米づくりを行っているのは4軒。耕作放棄地となった棚田再生の取り組みが行われてきました。「寺坂棚田学校」で一から米づくりを学び、「寺坂棚田オーナー」となると棚田で実際に米を作ることができます。

畦道に彼岸花が咲き誇る9月中旬には、彼岸花まつりが行われます。



### ★ 花咲山公園

⇒「日本一歩きたくなる町よこぜ」を目指して、様々なウォーキング事業を展開しています。令和3年には「横瀬町ウォーキングコースアワード」を実施、一般の方からウォーキングコースを募集、「観光編」「健康づくり・福祉編」のマップが配布されています。この公園もウォーキングコースの1つです。



彼岸花に似ていますが、  
「リコリス」の花。9月中旬  
には赤の彼岸花が咲きます。

### ★ チャレンジキッチン「ENgaWA」

### ★ 「ENgaWA」駅前食堂

⇒地域おこし協力隊が所属する「エンガワチーム」は、チャレンジする場として、自分たちで商品を試作、販売、提供しています。

駅前食堂では、発表する場がないという横瀬中学校美術部の生徒の声を聞き、生徒が書いたイラストが掲示されるようになりました

中学生  
の作品



# 横瀬町のご紹介③

花咲山公園

チャレンジキッチン「ENgaWA」

背景は…  
朝靄の中の  
武甲山



「ENgaWA」駅前食堂

NAZELAB (ナゼラボ)



## 横瀬町のご紹介③

### ★Area898(オープン アンド フレンドリースペース エリアはちきゅうはち)

⇒使用されなくなっていたJA旧直売所跡地を利活用し、町民と横瀬町に関わる人たちが交わる交差点として作られました。898:ヤクバから来ているそうです。仕事をする大人、宿題をする小中学生、仕事帰りの役場職員が実際に交流する様子がありました。

### ★Area899

⇒Area898の2階にあります。「横瀬町子ども・子育て支援事業計画」にも位置付けられており、親子での利用や、放課後こどもだけでの利用ができます。室内の様子を監視カメラでいつでも確認できるようになっているため、子どもはArea899(2階)で、保護者はArea898(1階)で仕事をするということも可能とのことです。

### ★NAZELAB(ナゼラボ)

⇒一般社団法人タテノイトが、公益財団法人「子どもの居場所」事業の助成を受け、「学校でも塾でもないこどもの学びの場」として開設。学校に適応できず不登校となっている児童生徒が、学習機会を得ることが出来る場ともなっています。

小学校1年生～中学校3年生までが利用でき、「学びの新しい形」「多様であること」「地域とのつながり、人との出会い」がコンセプトとなっています。平日昼間のコースでは、横瀬町の森や川で遊んだり、NAZELABで興味のある分野の本を読んだり、実験や工作をしたりして過ごしています。

# 旅する公務員 2日目

9月5日（火）

9時00分～12時00分

## 「母子保健の現状とこれから」磐梯町と横瀬町の母子保健に関する情報交換会

渡辺保健師・加藤保健師・原保健師（他業務があり途中参加）と情報交換を行いました。

13時00分～17時00分

○児童福祉担当者との情報交換

○情報交換会のまとめ

### 健康子育て課スタッフ

- ・課長
  - ・保健師5名（会計年度職員1名 週4日）
  - ・事務職7名（会計年度職員2名）
- 計13名

※他に保健師は福祉介護課に1名  
看護職・栄養士はいない

地区担当制＋業務担当制を取っている  
（7地区を人口割で4人で分担）

### 横瀬町について

人口 7788人（R5.8.1現在）

うち 65歳以上 2723人（35.0%）

15歳未満 778人（10.0%）

出生数 40人（R4）

### 町内施設

○町立横瀬町保育所 生後8か月～利用可能  
※利用者が少なく閉鎖の危機がありました。

○私立認定こども園 秩父ほうしょう幼稚園  
生後10か月～利用可能

○小学校1か所 横瀬小学校

○中学校1か所 横瀬中学校

○診療所 3か所

○歯科医院 2か所

役場から車で5分ほどで秩父市

# 旅する公務員 3日目・4日目

横瀬町の母子保健事業に参加させていただきました。

9月6日（水）

AM「赤ちゃんくらす」 in 横瀬町総合福祉センター

PM「作業のはぐくみ相談」 in 横瀬町総合福祉センター

9月7日（木）

AM「保育園への巡回相談」 in 私立くわの実保育園（秩父市）

PM「2歳児歯科健診・3歳児健診」  
in 横瀬町総合福祉センター

保健事業を行う  
「総合福祉センター」は、  
役場庁舎から  
車で5分ほどの距離に  
ありました。



# ★赤ちゃんくらす★

## 【事業内容】

- ・ 1歳（生後12か月）までの乳児とその保護者を対象とし、月1回開催。
- ・ 「バランスセラピー」「ベビーマッサージ」「親子体操」「親子あそび」など。
- ・ 講師は、助産師・児童館の先生・健康運動指導士・作業療法士に依頼。
- ・ 赤ちゃん訪問時に事業の説明を行い、現在16組の登録。
- ・ 「お昼寝アート」の写真撮影ができ、これを目当てに来る方もいるとのこと。

## 【当日の様子】

- ・ この日は6組、きょうだい児も含めて15名の参加がありました。
- ・ 講師の作業療法士より、抱っこの仕方、ハイハイの大切さなどの話があり、ママたちは真剣に話を聞いていました。

### この日のお昼寝アート



★担当の保健師は、子育て世代包括支援センター専任。

- ・ 妊婦訪問
- ・ 赤ちゃん訪問
- ・ 妊婦とその家族向けの教室

などを担当している。

# ★作業のはぐくみ相談★

## はぐくみ相談とは…

- 事前予約制の個別相談事業。
- こどもたちが心も身体も健やかに育ち、持てる力を最大限に発揮することができるよう、専門スタッフがことばや運動、発達全般のことをはじめ家族の心の健康など様々な相談に応じています。
- 内容は…  
「運動の相談（理学療法士）」 「ことばの相談（言語聴覚士）」  
「作業の相談（作業療法士）」の3種類があります。

「運動のはぐくみ相談」では…  
扁平足・X脚・O脚のお子さんは、  
体幹や足元がしっかりしていないため、  
かかとを安定させるために、「ハイ  
カットシューズ」を勧めている。

保護者の相談する場、子どもの発達について共有する場として活用されていました。

出張リハ室のような雰囲気、遊びの中でこどもの様子を確認。

保護者に対して…

- ・今できていること
- ・苦手な部分
- ・やってほしい遊び、声かけ

について、具体的な説明がありました。

こんなアドバイスもありました。

- ・三項関係を育てるかかわり
- ・ビジョントレーニングのすすめ
- ・気持ちを落ち着かせる方法の習得

磐梯町でも作業療法士の方に、事業に入っていただいています。今回の事業見学を通して、また違う新たな視点についても学ぶことができました。

# ★保育所への巡回相談★

## 巡回相談とは…

保健師と専門職（言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・心理士のいずれか）が、町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校を訪問しています。担任との情報交換や実際の保育・授業の様子から、こどもたちの様子を知り、心と身体が健やかに育ち、持てる力を最大限に発揮することができるよう、支援方法などについて共有を行っています。

就学時健診前には年長児が在籍している秩父市内の保育施設にも出向いているそうです。

関わる専門職が多いことで、色々な視点でこどもを見て、その子にあった支援を考えることができるということは強みだと思いました。

今回は訪問させていただいた園は、とても特色ある保育をされていました。

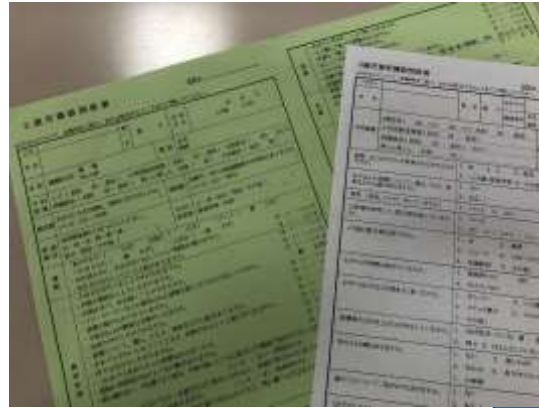
からだ（体幹）づくりをととても大切にされていて、年長児になり体幹がしっかりとしてきたところで、指先を使った活動に移っていきます。「ぞうきんを縫う」「布を編んで縄跳びを作る」という、課題が用意されていて、年長児はみな自分で完成させるそうです。

小学生で45分座って授業を受けるため、指先を使った活動を行えるようにするためには、体幹づくりが大切という考えからとのこと。園庭には大きなプールがあり、年長児で水を怖がる子はなく、自然と泳ぐことができました。リズムの時間には、ピアノに合わせて体を動かし、ジャンプ・側転などの運動も上手に行っていました。

# ★ 2 歳児歯科健診・ 3 歳児健診★

## 2 歳児歯科健診

問診・歯科健診・フッ化物塗布



## 3 歳児健診

問診・小児科診察・歯科健診・フッ化物塗布  
目の検査（視力検査・屈折検査・アンケート）  
耳の検査（アンケート・ささやき声・指こすり）  
尿検査・栄養相談・心理相談（希望者）

### スタッフ

|             |         |       |     |
|-------------|---------|-------|-----|
| 保健師（健康子育て課） | 事務職（受付） |       |     |
| 小児科医師       | 歯科医師    | 歯科衛生士 |     |
| 栄養士         | 心理士     | 保育士   | 看護師 |

### 横瀬町の乳幼児健診

- ★ 3～4 か月児健診
- ★ 9～10か月児健診
- ★ 1 歳 6 か月児健診
- ★ 2 歳児歯科健診（2 歳 3～4 か月児）
- ★ 3 歳児健診（3 歳 3～4 か月児）

- ★ 5 歳児健診（5 歳 0～3 か月児）  
⇒ 問診・小児科診察・歯科健診  
フッ化物塗布・屈折検査  
栄養相談・心理相談（希望者）

- ・ コロナ禍以降、1 回の人数を調整して通知。
- ・ 2 歳 1 0 か月頃の歯科健診も行っていましたが、まだ再開できていません。
- ・ フッ化物塗布は、1 人あたり 3 回。  
（学校でのフッ化物洗口も実施）
- ・ 保育士、心理士は遊びの様子を確認し、その情報を共有していました。

# 旅する公務員 5日目

## 9月8日（金）

この日は台風13号の接近に伴い、9月7日夜から強い雨が降っていました。

横瀬町では、午後の保健事業（婦人科健診）は前日の時点で中止の判断となりました。

無事に帰れるだろうか…と心配に。議会期間中でもあり、天候も悪かったため、

10時頃 町長・副町長にご挨拶後、横瀬町役場を後にしました。

その後、横瀬町内と秩父市内を案内していただき、

12時09分 西武鉄道 西武秩父駅出発

西武鉄道⇒JR川越線⇒東北新幹線⇒JR磐越西線を乗り継ぎ、

17時06分 磐梯町駅に無事到着しました。

# 「A面」 的 目的 について

## ★目的

磐梯町役場の情報システムクラウド化により、テレワーク環境が整った。  
実際に旅をしながらテレワークをすることで生じる問題はあるか？

## ★実際にテレワークをしてみて感じたこと

保健師にテレワークは無理でした…

実際に会って、住民さんや関係者とのやり取りがなければ成立しません…

○チームスやOutlookで情報のやり取りや外部からのメールの確認、業務に必要なデータを見ることができたので、業務内容によっては可能なのかもしれませんが。

- パソコン上では書類が読みにくく「印刷して紙で読みたいな～」と感じました。
- 「メールで届いた外部からの文書」や「外部へ報告した内容」は普段印刷したものを回覧・共有しているため、対応に困りました。

# 「B面」 的 目的について

★目的 自治体間の交流を推進し、互いの先進事例を共有することにより、地域課題の解決を図る。

横瀬町役場の方々との交流において、感じたこと・学んだことを以下の視点でまとめた。

◆横瀬町の母子保健分野での課題と工夫

◆横瀬町の様々な取り組み① ②

◆「要保護児童対策地域協議会」と「こども家庭センター」について

# 「B面」 ★横瀬町の母子保健分野での課題と工夫★

## 課題

磐梯町も共通の  
課題あり…

### ○出産できる産科の減少

- ・近場では秩父市内の個人医院のみ
- ・妊娠経過によっては、埼玉医科大学病院を紹介される

### ○新型コロナ対策の影響で

#### オンラインでの母親学級

- ・オンラインでは妊婦さんの理解もいまひとつ…直接顔を合わせたい

### ○発達に関する課題があっても

#### 支援につなぐ先が限られている

発達外来を持つ総合病院や療育センター、療育施設もあるが…

予約が取れない

遠方で通えない

検査はできない などの問題がある。

## 工夫

### ●「ぷち・マタニティスクール」の開催

全妊婦を対象とし、陣痛から出産までの経過や沐浴などに関する話や沐浴実習、呼吸法、ストレッチなどを、助産師・保健師が実施。年3回。訪問（保健師）でも対応。

### ●「ほっとハグくむ…ママサロン♪」の開催

秩父郡市（1市4町村）の広域事業。助産師が相談に応じる・ママの情報交換の場として活用。予約制で実技（沐浴等）の指導も実施。

### ●「はぐくみ相談」の開催

### ●巡回相談

### ●心理士による発達検査（WISC-IV）の実施

検査できる資格を持った心理士が実施。お子さんの発達特性の把握、保護者へ結果説明も行い、保護者・通園施設で同じ認識のもとお子さんの支援が行えるようにしている。

### ●すきっぷ教室

月1回、未就園児を対象にした小集団の教室。

### ●家族すくすく相談

### ●こどもの心の相談（心理士）

# 「B面」 ★横瀬町の様々な取り組み①★

## 「歩育（ほいく）コーチ」の活動

「日本一歩きたくなる町よこぜ」を目指して、日本ウォーキング協会の協力のもと、様々な事業を展開しています。

シニア層のウォーキングは浸透してきたため、今年度は町立保育所にて「歩育プログラム」を実施。月曜日の午前中に、体を動かすことの楽しさを伝えています。5月に子どもの体力測定や保護者アンケートを実施、10月頃に評価を予定しています。

## 「移動販売」の開始

町内ドラッグストアの「ウエルシア」が、令和5年9月1日より移動販売を開始。9月4日に移動販売車に遭遇。月曜日から金曜日まで、町内45か所を日替わりコースで回っています。今後、薬剤師とのオンライン相談が開始し、処方薬も配達してもらえるようになる予定。

磐梯町でもこの事業を必要とする方がいますが、事業化できていません。

## 育児支援家庭訪問事業

出産後間もない時期等の育児や家事の負担を軽減し、安定したお子様の養育環境を整えるため、ちょっとしたお手伝いが必要な家庭に、保健師のほかに保育士、ヘルパー、助産師、栄養士等を派遣する事業。

- ・ 1日1時間月15回が上限
  - ・ 利用料無料
  - ・ 妊娠中から18歳までのこどものいる家庭が対象
- 3か月ごとに保健師が訪問し、利用状況や継続利用について確認しています。ヘルパーは町内と市内の介護事業所計2か所に依頼しているそうです。



# 「B面」 ★横瀬町の様々な取り組み①★

## 小児科・産婦人科オンライン

妊娠期から子育て期にわたる不安等を軽減するため、小児科医、産婦人科医、助産師等が相談に応じてくれるサービス。町内に小児科・産婦人科がないことから導入し、受診の目安の相談やセカンドオピニオンとして活用してもらっています。リピーターも多いそうです。

## ABC検診の導入

将来の胃がんリスクを測定（ピロリ菌・ペプシノーゲンにより胃の粘膜の萎縮具合を判定）するもの、判定はABC。判定結果によって、その後の内視鏡検査の頻度が変わります。40歳・50歳を対象に、他の健診とも合わせてワンコイン500円で実施予定。

医師会より悪化してから受診されるケースが多いため、導入してほしいと要望があり、準備をしています。

## 秩父地域保健師会

秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町の1市4町と秩父保健所の保健師が集まり、保健師間の情報交換を行っています。今年度のテーマは「記録の管理・共有」とのこと。

## 事務分担

・専門職（栄養士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、心理士など）は、外部の方に依頼しています。病院、療育施設、訪問看護ステーションなどに勤務されている方にもお願いしてきてもらっているそうです。

・事務職が、事務ならではの視点で保健事務、各種補助金等も含めた予算管理を担ってくれています。

# 「B面」 ★要対協・子ども家庭センターについて★

○「要保護児童対策地域協議会」の運営と今後の「こども家庭センター」設置に向けての動きについて情報交換を行いました。

## 「要保護児童対策地域協議会」の運営

児童福祉担当が「要対協」の事務局となっています。

- ・代表者会議 年1回
- ・実務者会議 年3回（学期毎）
- ・ケース会議 適宜実施

情報提供があったケース、心配なケースは、なるべくケース登録を行い、支援体制が整ったらケース終結とする場合が多く、終結の判断も実務者会議で行っています。



磐梯町では…

「子ども家庭総合支援拠点」の設置ができていない状況です。

「要対協」の内容の充実と児童福祉担当との連携について、整備していく必要があります。

## 「こども家庭センター」設置に向けての動き

すでに「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」は同一課内に設置済で、ケース対応も児童福祉担当と保健師（地区担当）が一緒に訪問するなど体制はできているため、設置場所は決まっています。

しかし…

役場庁舎内では相談室がない  
福祉分野の専門職がほしい

という課題があります。

- ・人材はなかなか集まらない。
- ・「こんな事業やりたい」と魅力あるPRが必要では…
- ・事務職が研修を受けても、数年で移動となってしまう。

# まとめ

健康子育て課のみなさま、お忙しい中、事業の見学や情報交換の時間を取っていただき、ありがとうございました。

他市町村の保健活動について学ぶ・触れる機会は少ないため、母子保健の共通課題や横瀬町の保健事業の工夫を知ることができる貴重な体験となりました。今後はこの経験を保健活動に生かしていければと思っています。

耶麻町村会での人事交流に引き続き、他自治体と交流させていただけたことありがとうございます。



横瀬町役場と雲 1 つない青空

以上、

「旅する公務員」 第10弾  
埼玉県 横瀬町

報告を終わります。

磐梯町役場 町民課

**保健師 鈴木 美穂**

